

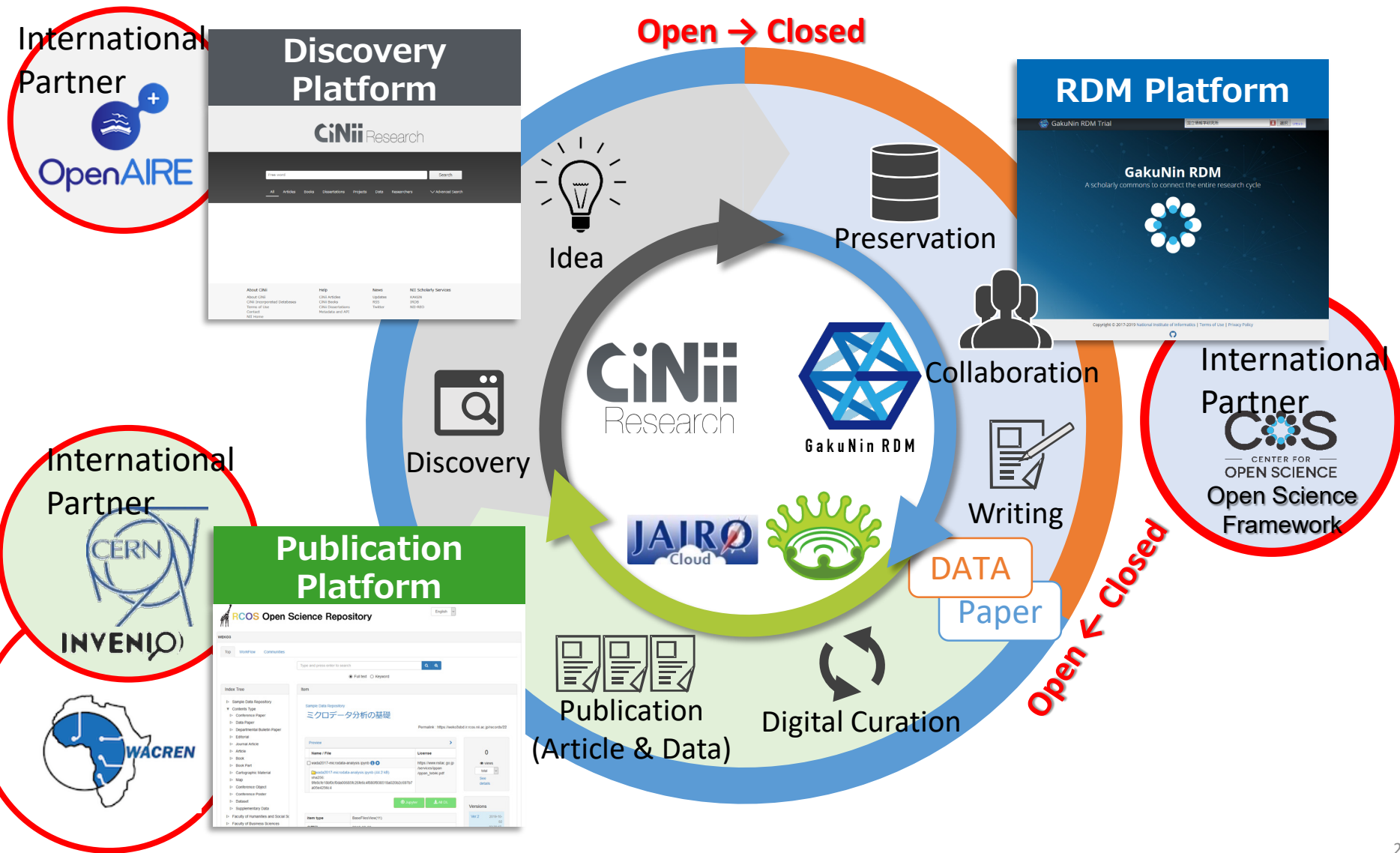
データガバナンス実現に向けた 技術動向

2020年12月04日

国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター
常川真央

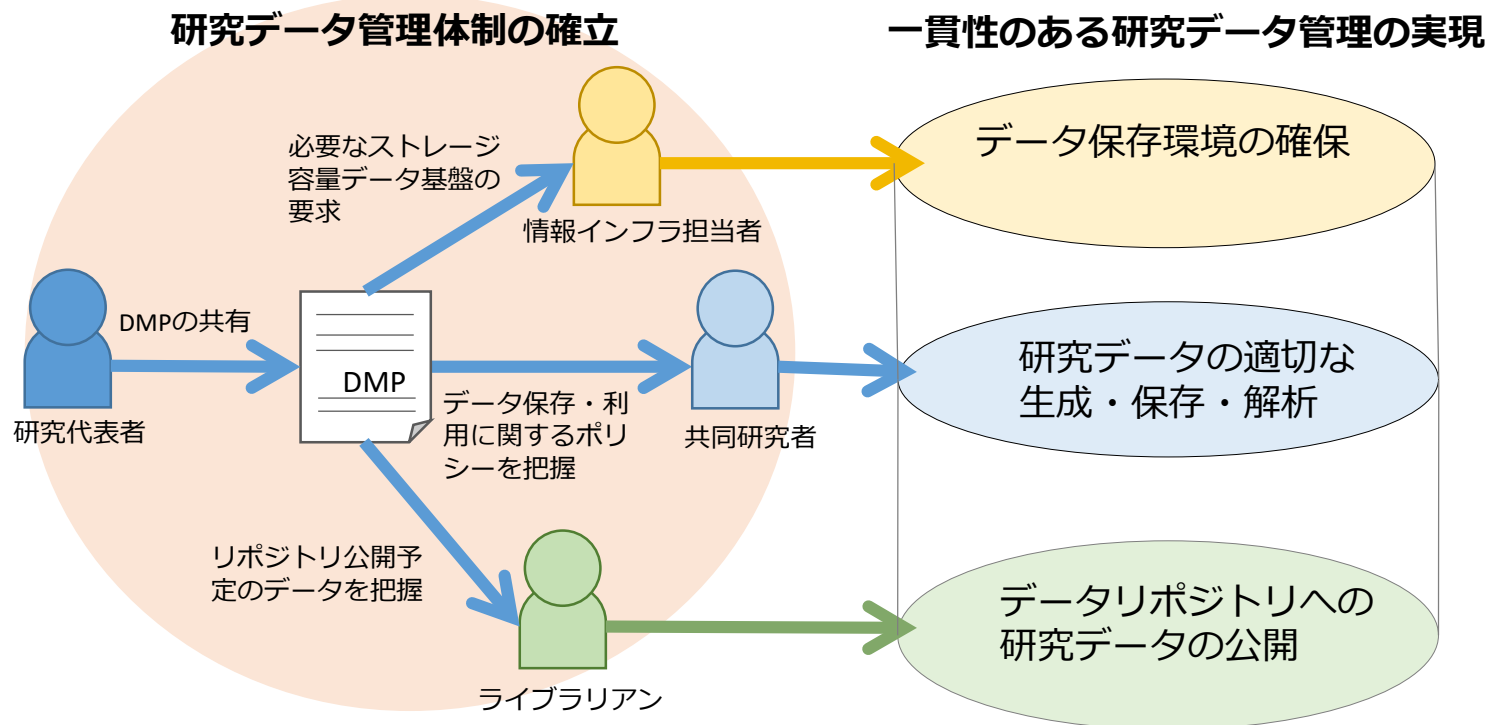
NII Research Data Cloud

国際的な連携のもとで研究データ基盤構築を促進



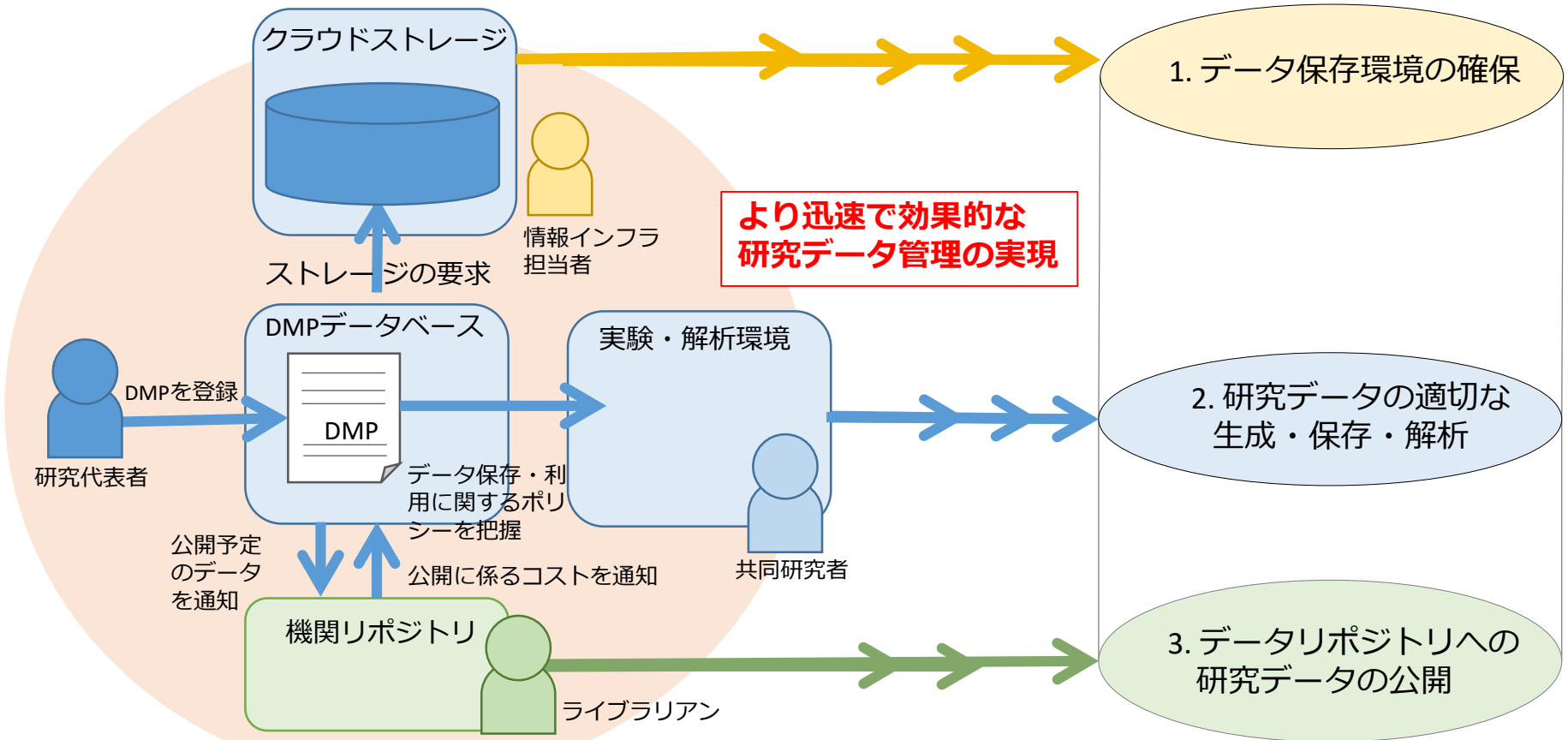
データマネージメントプラン(DMP)の活用

- データマネージメントプラン：研究中・研究後の研究データの生成・保存・管理・公開・再利用の計画を記述した文書
 - 研究データ管理に関係する共同研究者・スタッフにDMPを共有することで、各関係者が主体的に動くことが可能になる
- ⇒ メリット：DMPを活用することで研究データ管理環境の整備が円滑に
⇒ 課題：依然として人手がかかる



Machine-Actionable DMP

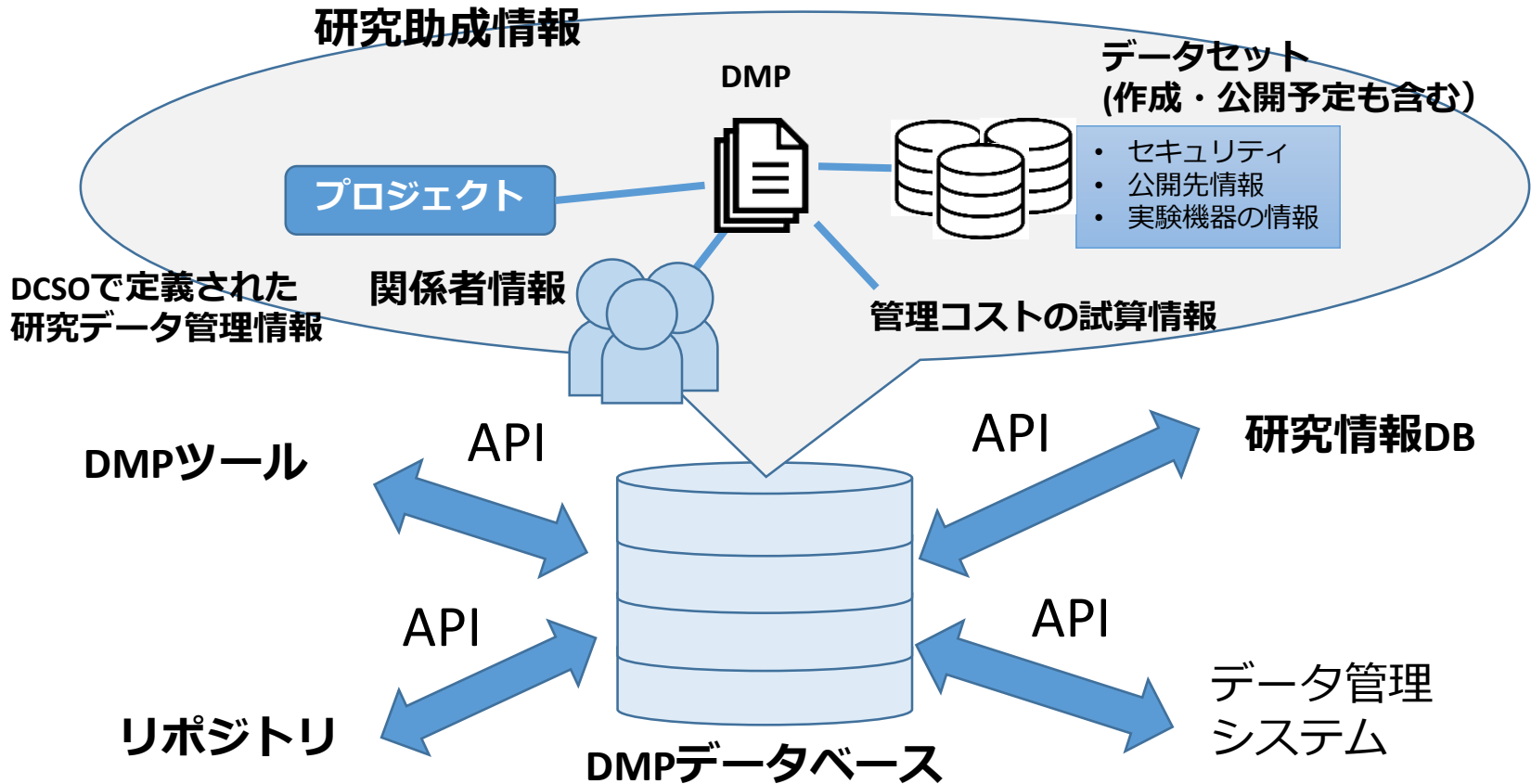
DMP活用による研究データ管理自動化の取り組み



- さらなるDMP活用の取り組みとして、DMPをシステム同士が直接やり取りし、研究データ管理に必要な環境の用意を半自動化するソリューション(= Machine Actionable DMP)が提案されている

⇒ 現在、研究データ同盟(RDA)など国際的な組織が共通規格の策定やシステム開発を推進

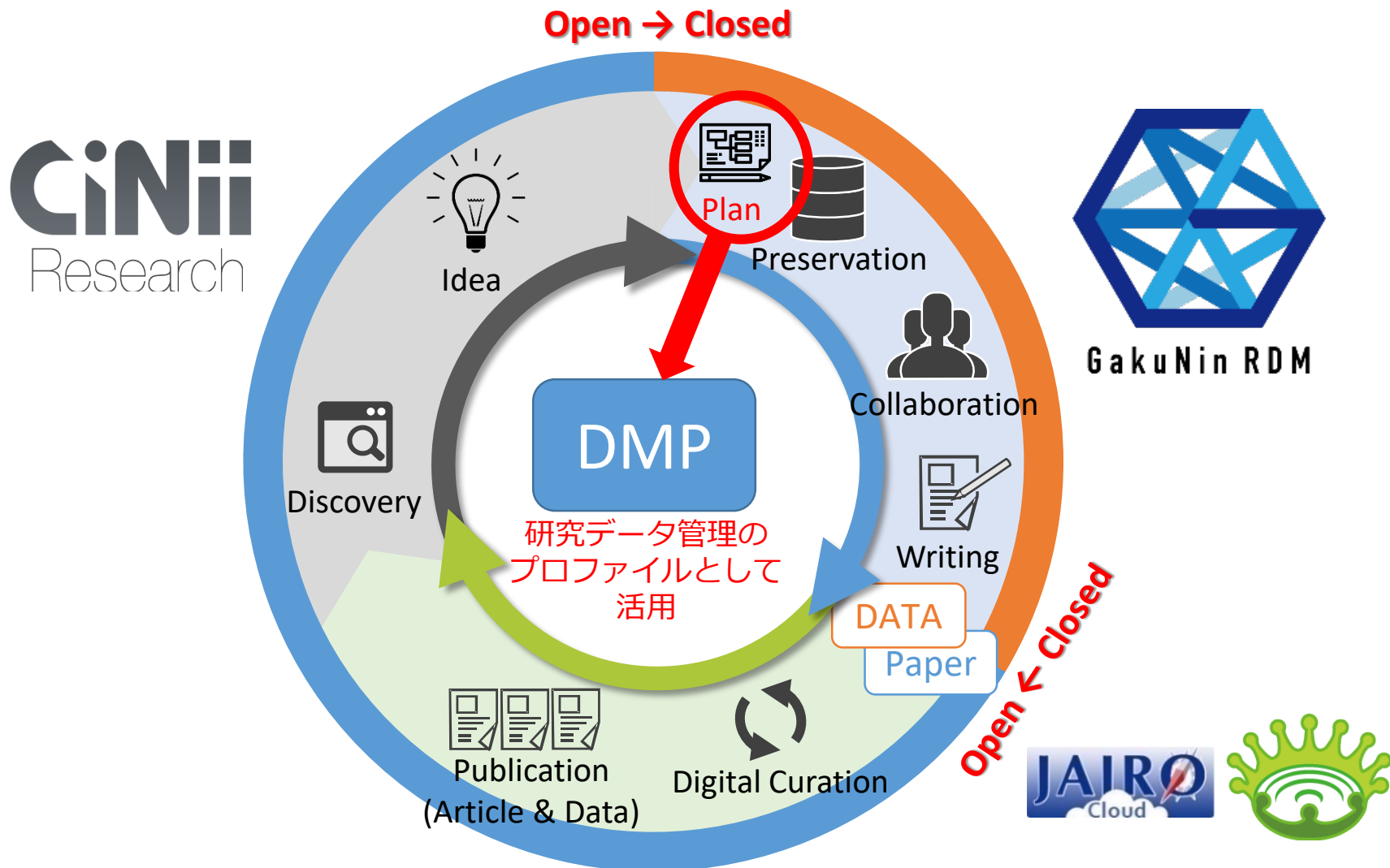
DMP Common Standard - DMPの共通データモデル



- 研究データ同盟(RDA)のWGによって策定
- 複数のシステムがDMPに含まれた研究情報を交換
- 研究データサービスがDMPを通じて自動的に動作しデータ管理を支援

NII Research Data Cloudにおける データガバナンス機能開発の取り組み

NII RDC間でDMPを共有・更新・蓄積して連携を強化



NII Research Data Cloudにおける データガバナンス機能開発の取り組み

NII DMP System
Welcome tsunekawa [Logout](#)

ホーム
計画
ワークスペース
データ管理
データ出版

検索

NII DMP System へようこそ



研究を計画する

DMPの作成
DMPの表示・更新
アドバイスを受ける



ワークスペースを作成

ワークスペースの表示
利用可能なサービス一覧



研究データを管理する

アーカイブデータの作成
データレコードの表示・更新
担当者の変更



研究データを出版する

データを出版する
データ出版物の表示・更新

Copyright © 2020- 国立情報学研究所
Powered by [ReDBox](#)

NII Research Data Cloudにおける データガバナンス機能開発の取り組み ～ DMPと研究の実態が同期するエコシステムの構築～



DMPに基づく研究環境の整備

再現性情報をDMPに関連付け



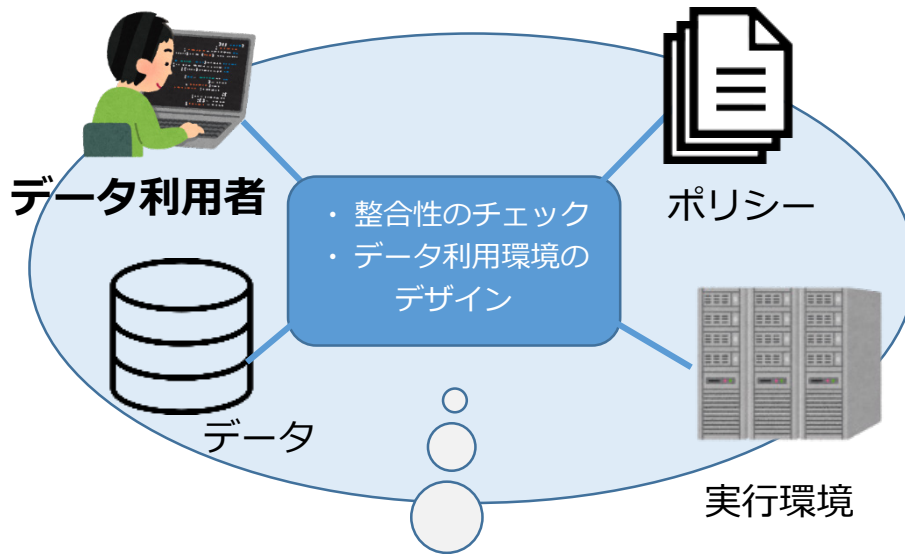
DMPを研究中に随時参照し見直し



Progressive DMP

(3) 研究成果のパッケージ定義DMPへの関連付け

データガバナンス技術の展望



- 将来のデータガバナンス：
 - 基盤がデータ共有・利用のコンテキストをどう扱うか
 - 例) GDPRに沿ってデータを扱う産学連携プラットフォーム
 - データ環境の設計を自動化し、文脈に沿ってコンプライアンスを自動審査する機能の必要性



- 学術だけでなく人々の生活をとりまくデータが安全に流通・利用される国家レベルの基盤の創出につながる

Society5.0 オープンサイエンス
GDPR スマートシティ
データ駆動型科学

データ基盤を形作る社会的文脈